

**サンホセ・アグアスカリエンテス日本人学校 小学部6年生合同遠隔授業
特別の教科 道徳 学習指導案**

指導者 T1 下重 卓也 (SJ)

T2 内海 優奈 (AC)

- 1 主題名 「友達とは」 B 友情、信頼
教材名 「コスモスの花」(光村出版社 きみがいちばんひかるとき)

2 ねらい

いつもは目立たない北山が友達から賞賛されたことを快く思えない「ぼく」の姿を通して、友達とはどんな存在なのかについて考えさせ、真の友情を育て、互いを尊重し合う健全な友達関係を築こうとする心情を育てる。

3 指導観

(1)ねらいとする道徳的価値について

友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり、児童にとっては最も重要な人間関係の1つである。友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。また、友情によって結ばれた友達は豊かに生きるうえで、かけがえのない存在となりうる。しかし、自分本位の考え方や行動から、友達を傷つけてしまうこともある。自分ではそれに気づかない場合もあるだろう。このような状況では信頼感や友情を育むことが難しくなる。よりよい友達関係を築くためには、友達同士が互いに相手の立場に立ち、相手の気持ちに寄り添うことが大切であり、心と心が通い合えば、安心感や信頼感が生まれる。このように、友達同士の相互の信頼の下に、協力して学び合う活動を通して互いに磨き合い、高め合うような、真の友情を育てるとともに、互いの人格を尊重し合う人間関係を築いていくようにすることが求められる。

- (2)児童の実態について (SJ 小学部6学年 女子1人, 計1人)
(AC 小学部6学年 女子2人, 計2人) 両校合計3人

評価	「思考力・判断力・表現力等」における具体的な児童の姿	合計
S (A1に加えて)	課題や問いの結論について振り返ったり、新たな課題や閃き、知識などを創造することができる。	1
	新たな課題や閃きに対して、どのように問題解決をするか考えたり、実際に解決しようとしたりすることができる。	1
	表現したことを振り返って新たな表現方法に気付いたり、聞き手の意見や反応を元にさらに考えを深めたり、表現を工夫したりすることができる。	0
A1 (A2に加えて)	課題や問いの解決にむけて情報を整理・比較し、相違点や類似点に気が付くことができる。	3
	対話や知識・技能を活用することで、新たな知識・技能を獲得することができる。	3
	課題や問いに対する自分の結論を決定し、ノートにまとめたり発表することができる。	3
A2	考えや学んだことを、言語だけでなく、図や写真、スライドなど工夫して表現することができる。※発達段階に応じた表現技法	3
	自分の考えをもち、ノートに書いたり発表したりするなど表現することができる。	3
	課題や問いに対して予想をもち、必要な情報を探したり選んだりすることができる。	3

上記の調査内容は、SJ校の目指す児童の資質・能力「思考力・判断力・表現力等」のルーブリックである。これまでの学習を通して、どの児童もA1評価に該当していることが分かる。さらにその上のS評価まで高めていくためにも、自分のこれまでの経験だけでは説明ができない、より問題解決に迫った学習展開を考えていきたい。そのような状況をつくることで、話し合いを通して友達の考えと自分の考えを比較した時に、自分の考えについて深く考えたり、自分たちの話し合いから新たな問いが見いだせたりすることができると思う。また、本授業での話し合いでは答えを一つにまとめる必要はないと考える。むしろ、答えを導き出そうとする過程の中で自分の考えがどのように変わっていったのか、深まっていったのかを実感できるようにしたい。

(3)教材について

本教材には、児童と同じ年頃の主人公の友達に対する複雑な感情が描かれている。主人公の「ぼく」には、北山という友達がいる。北山は、何事にも積極的な「ぼく」とは対照的な、クラスでは目立つことがない存在である。全くタイプの違う2人だが、気が合い、いつもいっしょに過ごしていた。ある日、北山が花を生けるという能力を発揮したことで、クラスの注目を集める。そこで、「ぼく」は北山に対して複雑な思いを抱く。「ぼく」の姿を通して、友達に対する複雑な感情を見つめながら、友達とはどんな存在なのかを考えさせることができると考え、本教材を選んだ。

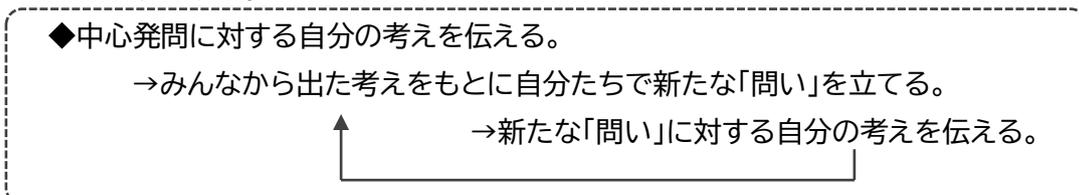
(4) 研究主題に迫るための手立て

① 遠隔授業における視点

遠隔授業においても、児童がより道徳的価値に迫り、指導内容を自分との関わりで捉え、切実感をもって学習に取り組んでいけるようにするためには主体的な学びに向けた工夫が必要になる。そこで、本時の学習では導入時に1学期に実施した道徳の合同遠隔授業「ロレンゾの友達」の学習での振り返りを活用し、自分は友達とはどんな存在として捉えてきたのかを振り返られるようにしていく。今現在も、同じ考えなのか、それとも別な考えなのかを問うことで、自分もつ友達像を再確認したい。そして、授業の終わりにもう一度友達とはどんな存在なのかを問うことで、友達に対する考えの変化や深まりを実感できるようにしたい。その際、Googleドキュメントを活用して、授業の初めと終わりで自分や友達の考えが見られるように工夫する。

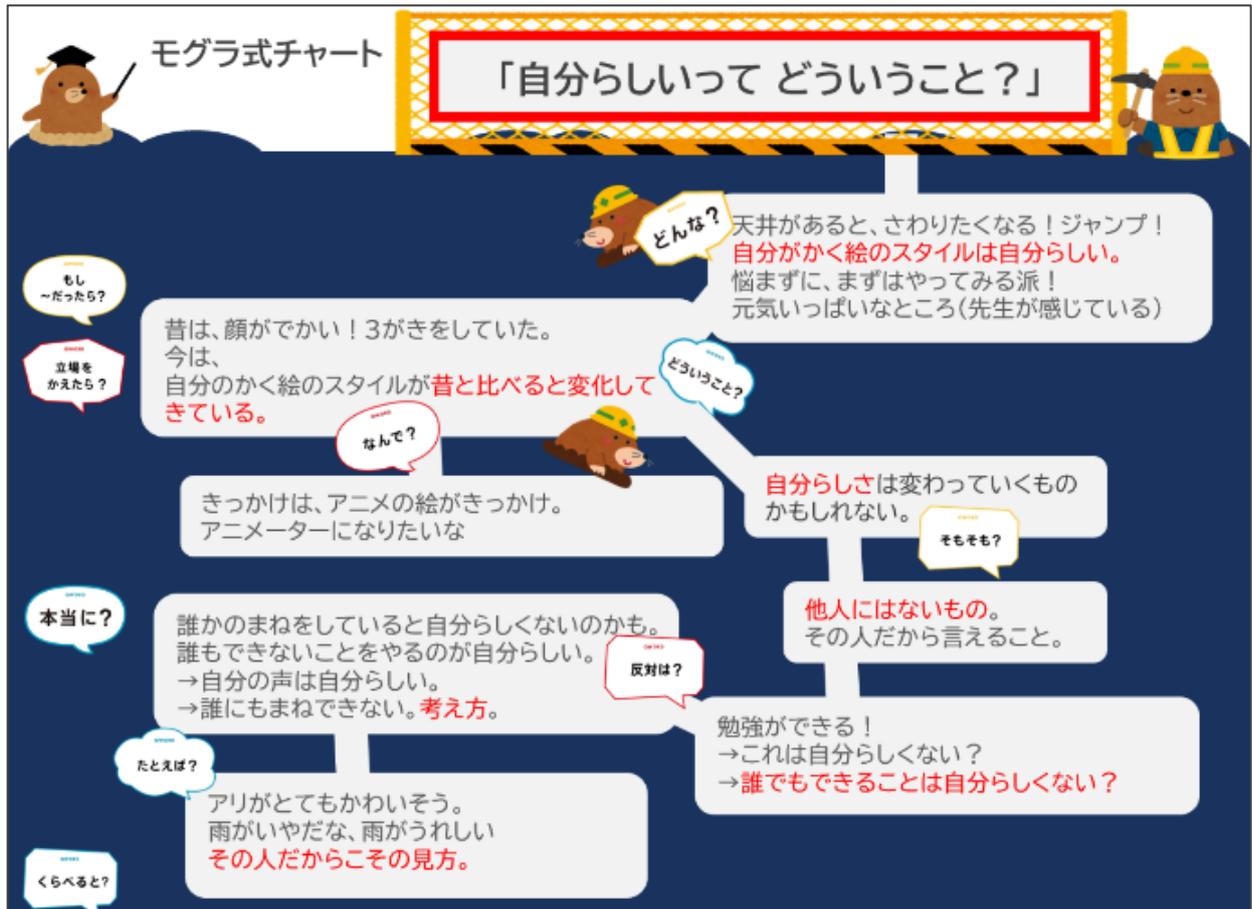
② 話し合いの場の充実と「問い」の焦点化

道徳科において、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるようにするには、児童が自分の考えを交えながら話し合いを深めていく学習活動が必要になる。本時ではそのように話し合いを深めていけるように、次のような流れを繰り返して話し合いを進めていけるようにする。

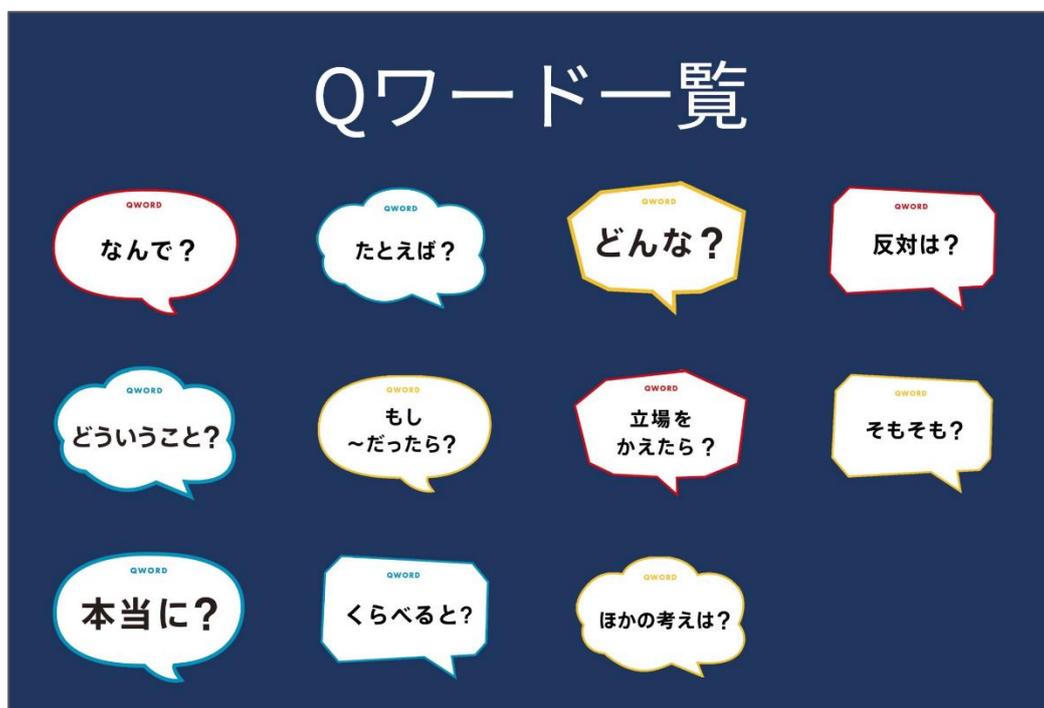


ただ、このような話し合いの場を設定しても、話し合いを上手く深めていけなかったり、話が逸れてしまったりして、主題に迫れないということもある。したがって、本時では、より充実した話し合いの場になるように、「モグラ式チャート」と「Qワード」を用意した。

「モグラ式チャート」とは、右図にあるチャート図のことである。児童から出た考えや問いを掘り下げる形で記録していくことで、児童が今何について話しているのか、自分たちの考えがどのように深まっていったのか、広がっているのかを視覚化できるようにした。



また、「Qワード」とは、「なぜ?」「もし～だったら?」「そもそも?」などといった、「問い」を立てる際の視点をキーワード化したものである。この視点があることで、話し合いの中で児童自らが「問い」を立てやすくなり、主題に迫ったより主体的で協働的な話し合いを進めていけると考えた。



6 本時の授業

(1) 準備

- ・Zoom ・PC (教師用2台, 児童用3台) ・ロイロノート(板書用)
- ・Google ドキュメント(児童の振り返り記述用)

(2) 展開

★研究主題に迫るための視点

学習活動(主な発問と予想される児童の反応)	指導上の留意事項 (○)	
	T 1	T 2
<p>1 「ロレンゾの友達」の時の振り返りの内容をもとに、「本当の友達」について改めて考える。</p> <p style="text-align: right;">【3分】</p> <p>○自分にとって「本当の友達」とは、どんな人のことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信じていることができる、信用できる人のこと。 ・互いに信用できる人のこと。 	<p>○画面共有ができているか確認し、できない場合はT1が共有する。</p> <p>○それぞれが現時点でもっている友達像を出し合い、本時のめあてにつなげる。</p>	<p>★「ロレンゾの友達」の際の振り返りを画面共有する。</p>
<p>友達とは、どんな存在なのだろう。</p>		
<p>2 「コスモスの花」を読んで話し合う。【30分】</p> <p>○「ぼく」にとって北山は、友達と言えるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北山のことを悪く言っているのは友達とは言えない。 ・友達ではない。友達なら北山のよいところを認めてあげるはず。 ・周りの友達が北山のことを悪く言ったときに「やめろよ」と言ったから友達だと思う。 	<p>○本文を朗読する。</p> <p>★発問内容に対する児童の考えを引き出す。</p> <p>★児童の考えから、考えを深めていくための新たな問いを引き出す。</p> <p>★問いを引き出す際には、問いの視点となる「Qワード」を活用できるようにする。</p>	<p>○本文を画面共有し、朗読に合わせて本文のスライドを動かす。</p> <p>★ロイロノートにあるモグラ式チャートを画面共有し、スライドを映し、児童の発言をモグラチャートに書き込む。</p>
<p>3 学習を振り返る。【12分】</p> <p>○自分にとって友達とはどんな存在なのか、今日の話し合いを通して考えたことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いのよいところを認め合える存在。 	<p>○板書の内容をドキュメントに貼り付けて児童が見られるようにする。</p> <p>○振り返りの内容をもとによりよい友達関係を築いていくことの大切さを伝える。</p>	<p>○Google ドキュメントをZoomチャットで送る。</p>

(3) 学習資料

① 「ロレンゾの友達」の学習の際に振り返り(Google ドキュメント)

① 本当の友達とは、どのようなものだと思いますか。

楓	本当の友達とは、自分が意見を出すのではなくて、相手がこうしたいという意見を聞く。その人を信じられたら友達だと思う。
花帆	本当の友達とは、お互いに信用できること。相手のことや自分が納得できたかで信じたり、信用できなかつたりする。もし信じられなかったとしても妥協するより、その状況にあった提案をする方が相手の為にもなるのかなと思った。
美良	本当の友達とは、自分が信用できる人。もしも自分が信頼できなそうな人だったり、すぐ秘密を話すような人だったら、私は、それを友達と言わない。

② モグラ式チャート(ロイロノート)

モグラ式チャート

「友達」とは
どのような存在なのだろうか？

みんなの
考えを
深めよう

③ 振り返りシート(Google ドキュメント)

「コスモスの花」 振り返りシート

◆ 1学期の「ロレンゾの友達」での振り返り

① 本当の友達とは、どのようなものだと思いますか。

楓	本当の友達とは、自分が意見を出すのではなくて、相手がこうしたいという意見を聞く。その人を信じられたら友達だと思う。
花帆	本当の友達とは、お互いに信用できること。相手のことや自分が納得できたかで信じたり、信用できなかつたりする。もし信じられなかったとしても妥協するより、その状況にあった提案をする方が相手の為にもなるのかなと思った。
美良	本当の友達とは、自分が信用できる人。もしも自分が信頼できなそうな人だったり、すぐ秘密を話すような人だったら、私は、それを友達と言わない。

◆ 今日の学習を通して、「友達とは、どのような存在」だと考えますか。
自分の考えをまとめよう。

楓	
花帆	
美良	